

竹澤恭子 学校訪問コンサート

中学生の文化芸術への関心を高めるため、世界的なバイオリニストとして活躍する竹澤恭子さんを招き、市内全中学校で3年に一度開催しています。中学校在学中に、世界の第一線で活躍する竹澤さんの演奏を聴くことができる貴重な機会として好評です。演奏だけでなく、竹澤さんから中学生の頃の思い出やプロ音楽家を志した理由を聞き、中学生は自分自身の進路を考えるきっかけにしています。



レクチャーコンサート

鈴木政吉の功績や大府との関わりを伝え、レガシーとしていくことを目的に開催しています。かつて大府に鈴木バイオリン製造の分工場があったこと、その傍には政吉がバイオリンの研究に没頭した済韻研究所があったこと、政吉の三男・鎮一が確立した音楽教育法「スズキ・メソッド」のこと、スズキ・メソッドで学んだ竹澤恭子さんや水野紗希さんが世界、全国で活躍していること…。大府とバイオリンとの関係がわかるコンサートです。

バイオリンのまち大府

2021年4月、創業130年を超える弦楽器メーカーの鈴木バイオリン製造株式会社の本社が名古屋市から大府市に移転しました。大府市は、縁の深い鈴木バイオリンと連携し、バイオリンのまち大府を世界に発信します。



文化

大府とバイオリン

Profile

鈴木 政吉 プロフィール

鈴木バイオリン製造株式会社の創業者。1859年名古屋市生まれ。16歳の頃から父の仕事の三味線作りを手伝う。和楽器の衰退を感じ、28歳の頃小学校の唱歌の教師になることを目指す中でバイオリンに出会い、魅せられ、鈴木バイオリン製造を創業する。1934年に社長の座を退いてからは、大府に建てられた済韻研究所でバイオリンの音色の研究を続け、1944年に84歳で生涯を閉じる。



写真提供：鈴木バイオリン製造㈱

大府で研究に没頭した 日本のバイオリン王・鈴木政吉

鈴木政吉は、1887年に鈴木バイオリン製造を名古屋に創業し、大正時代には世界的楽器メーカーへと成長させました。しかし、世界恐慌の影響を受け、1933年に和議破産となり、会社再建には長男の梅雄が奔走しました。梅雄はドイツの楽器生産の村「マルクノイキルヘン」に倣い、大府の横根町に鈴木バイオリン製造の分工場を新設しました。分工場の隣には、政吉がバイオリンの音色の研究をするための済韻研究所も建てられました。

政吉が製造したバイオリンは、国内外の博覧会で数々の賞を受賞しています。物理学者アインシュタインにも贈呈され、本人から政吉に礼状が送られた記録も残っています。

政吉の三男・鎮一は、ドイツに留学し、バイオリン演奏を学び、1946年にスズキ・メソッドの基となる会を結成しました。スズキ・メソッドは、幼児期から音楽を通じて心豊かな人間を育てる優れた音楽教育法として世界的に評価され、大府市出身のバイオリニスト竹澤恭子さんや水野紗希さんも、幼少期にスズキ・メソッドで学んでいます。



大府分工場の傍に建っていた済韻研究所